

令和5年度第2回草津市文化振興審議会 会議録

▼日時：

令和6年3月4日（月）14：00-15：30

▼場所：

草津市役所 6階 教育委員会室

▼出席委員：

松本会長、五十川委員、澤委員、中村委員、成田委員、涌井委員、内山委員、西村委員

▼欠席委員：

大塩副会長、富田委員

▼事務局：

増田部長、岸本副部長、古川生涯学習課長、岡田生涯学習課長補佐、木内主任

▼傍聴者：

0名

1. 開会

【部長挨拶】

本日は何かと御多用の中、今年度2回目となります当審議会に御出席を頂きまして、誠にありがとうございます。

前回の審議会では、令和4年度の事業の進捗等について御審議をいただきましたが、本日は、今年度新規事業として実施をいたしましたアートスタート事業を初めとした今年度の重点プログラムの実施状況を御報告させていただきますとともに、毎年製作をしておりますキッズシネマ塾の今年度の完成作品を御覧いただきたいと思います。

また来年度は、本市が市制70周年ということで、そのような中で実施する令和6年度の重点プログラムについて改善点や展開方法など、御審議をいただければと考えております。委員の皆様には忌憚のない御意見をいただきますようお願いを申し上げます。開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

2. 報告事項（令和5年度の重点プロジェクト）

【会長】

年度末のまとめとして、報告事項を確認したい。

報告事項1、令和5年度の重点プロジェクトについて、事務局より資料の御説明をお願いします。

(1) 令和5年度の重点プロジェクト

【事務局】

〈資料に基づき説明〉

【会長】

『クレア舞台芸術学校』はもう少し注目したほうが良い。なぜかというと、文化行政を狭く考えると、ホールの運営とか美術館博物館運営であると思うが、産業との連携もこれからは求められていく。アオバナや淡水真珠など、こういう産業を草津市はもう少し力を入れていったほうが良いというのが私の考えである。今の文化振興計画は芸術を享受する権利といったような要素が強いが、2017年の文化芸術基本法ができる前の計画のため、今回はもう少し変えたほうがいいのかと思う。

資料1の重点プロジェクトについて、皆さんの御意見を頂戴したい。

【B委員】

単に地元の題材でミュージカルをしているだけではなく、子供たちと一緒に淡水真珠のところに実際に行ったり、先生をお連れしてロケハンをしている。昨日のミュージカルでも『クリスマスブーツ』や『淡水真珠』は草津発祥であるとか、いろいろな名物を全部折りこんだものにした。本当は以前のようにロケハンから全部子供たちが現場に行って、それにたどり着くというのが理想である。また少しずつ以前の状況に戻ってきているので、期待していただきたい。

【C委員】

事業の成果を来場者数で見るとは仕方がないと思うが、そういうイベントにおいて、新規を耕す部分がないのではないかと。市美術展覧会で言えば、実行委員をはじめ、市の方も皆一生懸命やってもらっているので、感謝をしている。ただ、そこで大事にされているのは来場者数である。市の取り組みを見ていくと、耕していく・育てていくという部分にどれだけの労力が払われているのかなと思う。成果の見えにくい部分ではあるが、その辺りがこの前の実行委員会のときも、委員から話が出ており、クレア舞台芸術学校のような子ども達が長期間かけて作り上げるのと同じように一般の初心者が、それぞれの分野に対して関心を持っていることに生涯学習課として、どう取り組みがされていかなければならないのか、しなくても良いのかも含めて皆さんの御意見を頂戴したい。

【会長】

「耕す」といえばカルチャーの語源でもある。

【G委員】

招待券をいただき、初めて『クレア舞台芸術学校』に参加した。素晴らしい独創的なテーマで、かつ本格的であった。数ヶ月であれだけの舞台を準備されたということで、舞台に出ている方も含めてすごく苦労されたのだろうという思いを持った。ただ、昨日も満席であれだけの立派なミュージカルをされているにもかかわらず、一般の方までなかなか広まっていないのでは。この場でも今までもいろいろと議論はあるが、やはり情報発信は非常に難しい。

令和5年度重点プロジェクトの実績も先ほど説明があったが、いろんなことをされているが、その参加している人としていない人の温度差はすごくある。委員となってからは、『アートフェスタ』に参加したり、『くさつのある暮らし市』にも参加をしているが、やはりどうやって市民に情報を伝えるかどうかである。市民が一步どう踏み出すかというところの、情報発信や情報提供の仕方が一番大きな課題だ。

【会長】

ゼロを一にすることはすごく難しい。ホームページも最初は便利に思っていたが、今は情報が多す

ざる。

【F 委員】

淡水真珠を知らなかったが、先日、草津の外国人をバスツアーで案内するっていうイベントをしようということになった。企画の段階で、どこを案内しようって話になったときにこの淡水真珠、それから木瓜原遺跡を回ったらどうかという話が出てきた。失礼ながらどれも知らなかったものばかりであり、委員のおっしゃる通り、せっかく作られたものがたくさんの方に届く方法をよく考えていく必要がある。

【会長】

淡水真珠はもっと売り出して良いと思うが、そのためには作る人を養成する必要がある。

【E 委員】

『クレア舞台芸術学校』の来場者数はどれくらいだったのか。

【B 委員】

約 1,200 人である。今回は沢山の方に来ていただいた。制作に力を割くと広報力が弱まってしまうことが悩みの種であり、今回改善するために初めてローソンチケットでの販売を試みたが、非常に効果的であった。

【E 委員】

どういう工夫をされたのか聞こうと思っていた。ターゲットにしている主な対象者が実際に来ているのかというデータもあれば良い。

【B 委員】

アンケートの回収率も良かったので、またお知らせできると思う。

【D 委員】

学校として『心の劇場』を観に行かせてもらった。昨年度はコロナ対策のために動画配信であったが、今年度は現場へ行き、生の舞台を鑑賞することができ、主役のみならず舞台演出の方の姿も見えて、子供たちはすごくありがたい体験であったと思っている。また、他の学校の子供たちと出会い、同じ空間の中で一緒のものを見ることによって繋がりが広がっていくのを感じた。動画配信による鑑賞だけでもありがたかったが、生の舞台を見るっていうことのすごさを今年に本当に体感した。コロナ前の状態にどこまで戻すか、というのは学校・行政の課題でもあると思う。

今も学校閉鎖は続々と出ているため、そういった部分には配慮しながらも、体験は大事にしていきたい。

【会長】

審議事項に入る前に、今年度の実績として映像作品を上映していただく。

【事務局】

〈動画を 2 本配信〉

- ①草津歌劇団 ~滋賀プラチャレンジ~
- ②キッズシネマ塾

【会長】

草津市の中でも、まだアオバナの青をテーマカラーとして売ろうという感じはまだないが、直観としては色も綺麗で良いと考えている。次に、審議事項 1、令和 6 年度の重点プロジェクトについて、事務局より資料 2、3 の説明をお願いします。

【事務局】

〈資料に基づき説明〉

【会長】

3点について、委員の皆様にご質問させていただく。

まず、キッズシネマ塾について、今後取り上げるテーマ案をお聞きしたい。それぞれのお立場から、どのようなものがあるのかを提案して欲しい。

次に、アートフェスタのイベントについて、開催候補地の提案をして欲しい。その開催地は文化財に拘らなくても良いのではないかという考えもある。

次に、アートフルールについては、今年はこういうものを行ったが、ほかに何かやったらいいのではないかという案を出してほしい。

【A 委員】

歴史文化財課という課がある。そこでは、文化財の調査・研究・活用という3つのことを一生懸命やっている。これまで、その3つをかつちりやっけていこうとしてきたが、調査・研究ぐらいまではなんとか出来ても、次の活用がなかなか進まない。教育の場で活用するというのが前提にあり、授業でその成果の話をお子たちに聞かせるということばかりやっけてきている。それがお子たちの心に対する啓発活動だとずっと思っけてやっけてきた。お子たちの主体的な活動と連携させた優れた手法は、キッズシネマ塾以外に知らない。この事業があるということを知ったときに、ここまでやっけているものがあるのかと非常に驚いた。キッズシネマ塾のテーマは、文化財の枠を超えて、もっと多様に捉えて良い。制作の関係者や鑑賞した人が書いたアンケートとかを参考にしていけば良いのでは。それから、一番肝心なのは、キッズシネマ塾に参加したお子たちがどう変わったのかも分かれば、今後のそのテーマを考え、それを運営していくときのプラスになるかもしれない。

【会長】

キッズシネマ塾では、作成したものをいかに今後活用していくのか。或いは、アートフルールはこのままの内容で良いのか、会場の見直し等の御意見もいただきたい。

【D 委員】

アオバナはすごく魅力的な題材であったと思う。身近にある学区では、サンヤレ踊りがある。踊りにはいろいろ役割があり、かなり難しいものではあるそうだ。継承していく上では、テーマとしてどこかでは取り上げていただきたい。食べ物であれば、うばがもちがある。あとは竹が話題に出てきたが、葦はどうだろうか。また、文化財であれば、芦浦観音や鞭崎神社が地域の方にとってはすごく身近で、歴史ある場所である。本陣も大事だが、そういった場所もPRしたいという思いがある。

アートフェスタのイベントについて、さまざまな制約があると思うが、そういう場所でもできないフェスタがある。今後も大事にしていっけて欲しい。

アートフルールについて、赤ちゃん連れで気軽に行けるコンサートはあまりない。アミカホールでも、赤ちゃん連れであれば、親子室に入って鑑賞するイメージがある。ぜひ、いろんな機会でも、短くてもいいので、何回か開催して欲しい。

【E 委員】

紫式部がNHKの大河ドラマでやっけてるので、大津の石山寺とかは有名であるが、草津脇本陣とかを絡ませて作ったら面白いのではないか。

アートフェスタは文化遺産も良いが、子ども達が集まれる場として小学校とか中学校とかで開催しても面白いのではないか。

アートスタートに関しては、開催時期が課題になっていると思うが、クリスマスの時期だと他のところでもイベントをやっていたりするので、あえてクリスマスの時期にしなくても良いのではないかと。

【会長】

奈良県桜井市では清少納言に所縁があり、大河ドラマにちなんで関連イベントを実施するようだ。草津では所縁のある場所はないのか。

【F 委員】

キッズシネマ塾について、毎年アオバナを題材にしているわけではなく、今回満を持してという認識で良いか。

【会長】

毎年変わっている。

【F 委員】

たとえば、草津宿本陣が歴史物の映画の舞台になったらすごいと思う。草津宿本陣で江戸時代の人のパネルを展示するっていう企画があった際に行ったが、実際にそこに当時の人がいれば、すごく面白いし、見てみたい。

次にアートフェスタについては、南草津のみなくさまつりをやった東山記念公園はどうか。みなくさまつりがかなり大盛況であったことから、交通の便が良い東山記念公園はふらっと来る人とかいるのではないかと。

アートスタート事業は素晴らしいと感じている。私も意見が反映されてよかったのであるが、今度はたとえば美術・アートの方面でも検討されてはどうか。小さいお子さんが土に触れないとか、物に触れないということで手のモータースキルのっていうのが、全然発達しないという問題がある。YouTube 等ばかりを見ていることが要因であるので、実際に物に触れるような機会を提供したい。他にも県立美術館のある一部屋に色々な廃棄予定のものが置いてあり、来た人が各自で作って持って帰れるアップサイクルと呼ばれる考え方を芸術に掛け合わせたことをされていたそう。何か家ではできない、たとえば絵具で体中が染まるようなものとか出来ればすごい面白いだろうと思う。

【G 委員】

キッズシネマ塾の今回初めて観たが、すごくいい作品だなというふうに思った。ただ、やはりこれも良い活動なので、みんなが見えるような機会を増やしていただきたい。

アートフェスタプレイイベントであるが、立木神社でやっていた『くさつのある暮らし市』に参加したが、非常に多くの方が来場され、ワークショップでは溢れるぐらいの人がいた。また、市役所の周りで開催されたアートフェスタくさつでもすごく多くの方が来場されていた。コロナ前ぐらいの参加者が増えたということで先ほど説明があったが、本当にすごい活気があるようなイベントだったし、内容もすごくよかった。

【C 委員】

キッズシネマ塾のデータは学校に配ったりすることはできているのか。

【事務局】

まちづくりセンターに毎年配布している。貸し出し用としては過去のメイキングを含めて生涯学習課で保管している。また、YouTube でも配信している。

【C 委員】

各学校に毎年配布されていれば、随時見られるはずなので、その点が周知できているのか気になった。また、一番初めにも話したが、イベントとしての役割はすごく成果があると思うが、その中で

うしていくのかという継続性の問題がある。先程の子供たちに対する取り組みにしても、1回だけではなくて何回か小分けにしていってという部分も含めて検討しないといけない。イベントとしてアートフェスタでいろんなものを作るっていうのは、それで良いと思うが、それで触発された子ども達の中にはもっと続けてやってみたいな子どもをどこで受け皿を作るのか、勝手にしてくださいというスタンスでいくのか。例えば一般で言えば、染物をしたいが、どこに行ったらそういうのをできるのだろうと、自分の家でできるわけでないし、以前であれば、どっかの公民館行ったらそういうことをしていたが、今はどこにあるのだろうか。せめて草津の中に1ヶ所・2ヶ所のやりたい人が集まれる場がありますよとか、やっている人を見つけて紹介するだけでなく、今だとそういう場の仕掛けからしていかないといけない。

また、大学と連携して事業をすることは、それで良いと思うが、そこまで成長する草津市内の子供たちが、どうしてそこまで育っていくのかという筋道をどう立てるのか。中学校の部活があるから良いのがどうかという部分、そういう意味で育てる、耕すというあたりをもう一度、地道な部分に戻っていく必要はないのかというところが一番気がかりだ。

【会長】

今、中学校の部活は先生が大変なので、担当出来ないという問題がある。生徒指導のほうで、先生たちは疲弊し、部活動を学校ではできないという動きがある。スポーツ関係の部活が先行しているが、文化部の動きも同様にある。これは相当重要な問題で芸団協という組織がパイロット事業でやっている。これによって伝統の芸能や技が途切れてしまうのではないかと大変危惧している。

【B委員】

キッズシネマ塾の委託先である草津の麗しい文化芸術を育む会の麻植氏と話す中で、草津歌劇団に手伝ってもらえないか等という話が出たりする。草津歌劇団でも草津にちなんだ歌を何十曲とか持っているのだから、楽曲の貸し出しや照会という観点から上手く連携ができないか。また、アートフェスタにおいても同時開催等といったような形で連携できるのではないかと考えている。

アートスタート事業については、沢山して欲しいというか、入口事業としてロビーでいいから子育て事業をして欲しいという話はよく伺っていて、次のロビーコンサートも子育て世代を対象とした事業にすることを考えている。また、事業名を『赤ちゃんと一緒に』とか、『0歳からのコンサート』とつけると市民の皆さんが安心して来ることは確かである。

【E委員】

アートフェスタイベントといえば、立木神社だと定着させるのか、色々な場所で開催しようと思っているのか。

【事務局】

アートフェスタのイベントは昨年度から開催しており、今年で2回目の開催となる。歴史的な建物や空間を意識して開催を続けており、1回目は街道筋にある国有形文化財の『八百久』という場所と、『立木神社』の2会場で開催した。そして今年度は立木神社だけで開催した。これまでの流れを汲み取り、歴史的な建物や空間を活用して今年度も開催をしていきたいと考えていたが、歴史的な建物であればあるほど、使用の制限がある。今までの考え方でいくと、どんどん対象となる会場が先細りしてしまうという思いがあるため、その考え方をもう少し広義に捉えたい。歴史的といえば、空間だけでなく、無形なものも歴史的なものとしてイベントの方に盛り込んでいくべきではないかと考えている。

【会長】

八百久はなぜ2回目をやめたのか。

【事務局】

八百久の2階では暮らしまつわるものを展示するイベントを実施した。協議を進めていく中で、今回は展示することはできないという話になったため、立木神社だけの開催となった。

【E 委員】

定着は考えていないということか。

【事務局】

定着するのであれば、立木神社を軸にすることが一つの選択肢であった。それとは別に定着は考えず、いろんな場所を活用していくことも選択肢としてあると思います、意見を頂戴したいと考えた。

【会長】

アートフェスタが市役所周辺を会場の中心として実施していくのであれば、プレイベントはどこやってもよいのでは。全市的に盛り上がったほうがいい。

【A 委員】

コロナ前は街中の浄教寺ってお寺でもやっていたが、面白かった。

今後それを例えば、草津宿本陣とかに波及させて地域限定的な催しをしてはどうか。

【事務局】

本日はお忙しいところ、慎重な御審議、貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。頂戴した御意見等については、来年度の事業、今後の振興に参考にさせていただきたいと思っている。ありがとうございました。

3. 閉会
